

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
大腸癌	☒ 進行・再発 ☐ 術前補充療法 ☐ 術後補助療法	Bev+XELOX療法	21日間	規定無し	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 100mL	点滴静注	20分	↓																				
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
③	ペバシズマブ 生理食塩液	7.5mg/kg 100mL	点滴静注	90分（初回） 60分（2回目） 30分（3回目以降）	↓																				
④	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑥	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
※	カペシタビン	2000mg/m ² /day	内服	1日2回朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

《注意事項・備考》

- ・ Bev：初回90分で投与し2回目以降60分→30分と投与時間短縮可能
- ・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする
- ・ Cape用量：BSA<1.36m²：2400mg/day、1.36m²≦BSA<1.66m²：3000mg/day、1.66≦BSA<1.96m²：3600mg/day、BSA≧1.96m²：4200mg/day
- ・ Cape服用期間：day1 夕食後～day15 朝食後まで
- ・ HFS予防(Cape)：ヘパリン類似物質クリーム/ローション適宜使用、市販の保湿剤使用も可